

# Nasta Interphone 2

インターホン 24H 録画機能付

KS-ND02A

## 施工説明書

**施工の前に、この〈施工説明書〉をよくお読みのうえ、正しく施工してください。**

- 施工前に「外観の損傷がないこと」、施工後に「動作に問題がないこと」を確認してください。
- 施工が原因で発生した損傷や故障については、当社では責任を負いかねます。

### 安全上のご注意 注意事項を守って施工してください。

- 説明を無視した使用方法によって生じる〈危険や損害の程度〉を次の表示で区分し説明しています。

	<b>警告</b>	正しい取り扱いをしなければ、軽傷・中程度の傷害を負ったり、万一の場合には重傷や死亡に至るおそれがある内容です。
	<b>注意</b>	正しい取り扱いをしなければ、ときに軽傷・中程度の傷害を負ったり、あるいは財産の損害を受けるおそれがある内容です。

- お守りいただく〈内容の種類〉を次の絵表示で区分し説明しています。(下記は絵表示の一例です。)

	このような絵表示はしてはいけない「禁止」の内容です。
	このような絵表示は必ず実行していただく「強制」の内容です。

		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 分解・改造はしないでください。</li> <li>● 雷のときは配線工事をしないでください。</li> <li>● 指定以外の端子台に電源(AC100V)を差し込まないでください。</li> <li>● インターホンは通行の妨げになる場所、薬品がかかる場所には設置しないでください。</li> <li>● 配線器具の定格を超える接続方法や、AC100V以外への電源接続はしないでください。定格を超える使い方をすると、発熱による火災の原因となります。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 施工説明書の内容を守って接続してください。</li> <li>● 配線工事はブレーカーをOFFにしてから作業してください。</li> <li>● AC100Vの電源直結工事は資格を持つ方が行ってください。</li> <li>● インターホンケーブルなど既設の配線を利用する場合は、種類によっては正常動作しない場合がありますので、動作しない場合はケーブルの種類及び状態をご確認ください。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 不安定な場所や振動の激しい場所に設置しないでください。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 配線の結線は必ず電気設備技術基準に則り施工を行ってください。</li> <li>● 本体は十分強度のあるところにしっかり取り付けてください。</li> <li>● 本製品の上にものを置いたり、ビニールで覆わないでください。熱がこもる原因となります。</li> </ul>

# 取付上の注意

下記該当箇所には不具合や故障がおこる可能性がありますので取付を行わないでください。

## 〈玄関子機〉

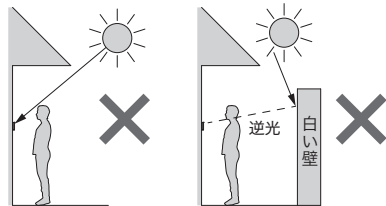
- 振動、衝撃の影響を受ける場所
- 反響の多い場所
- 通行の妨げになる場所、薬品がかかる場所
- 結露する場所、ホコリが多い場所
- 硫化水素やアンモニア、硫黄、塩害の影響を強く受ける場所
- 暖房機器やボイラーなどの近くで、高温となっている場所

## 〈室内親機〉

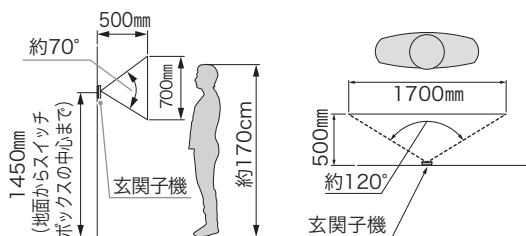
- 振動、衝撃の影響を受ける場所
- 火気・冷暖房機の近くや直射日光の当たる場所
- 冷房が直接当たる場所
- 通行の妨げになる場所、結露する場所、ホコリが多い場所、薬品がかかる場所
- テレビ、ラジオ、パソコンなどの電気製品に近い場所
- 浴室などの高温高湿度になる場所
- 電子レンジやコードレス電話など電波干渉の可能性のある機器の近く

## 玄関子機の設置について

- 太陽光が逆光になる場所への設置は極力避けてください。訪問者の識別が難しくなります。
- 玄関子機の防塵・防水性はIP54です。ただし、背面側には直接水がかからないようにしてください。
- 照明の影響により夜間の映像が見えにくくなる場合がありますので、照明が逆光になる場所への設置は極力避けてください。
- 埋め込み施工の場合は、正面から4mm以上本体を露出させてください。交換・メンテナンス時にパネルを取り外すために必要な寸法です。



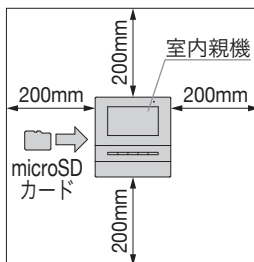
取付位置は下図を参考にしてください。



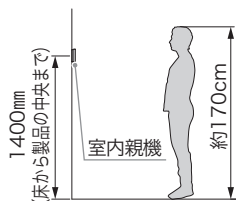
※夜間もよく見えるナイトビジョンモードあり

## 室内親機の設置について

- 本体の上下左右に200mm以上の空間をとり、壁を深くくぼませたスペースへの設置は避けてください(誤動作や通話の途切れ防止)。
- microSDカード挿入口が製品左側面にありますので、挿入ができる位置に施工してください。

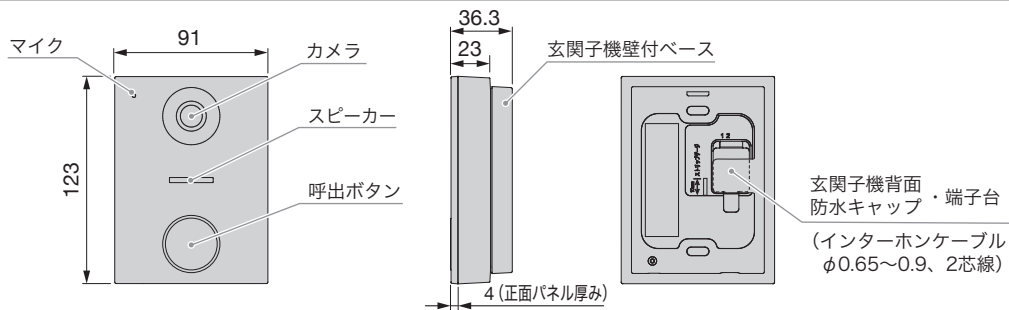


取付位置は下図を参考にしてください。



# 梱包内容 / 各部名称

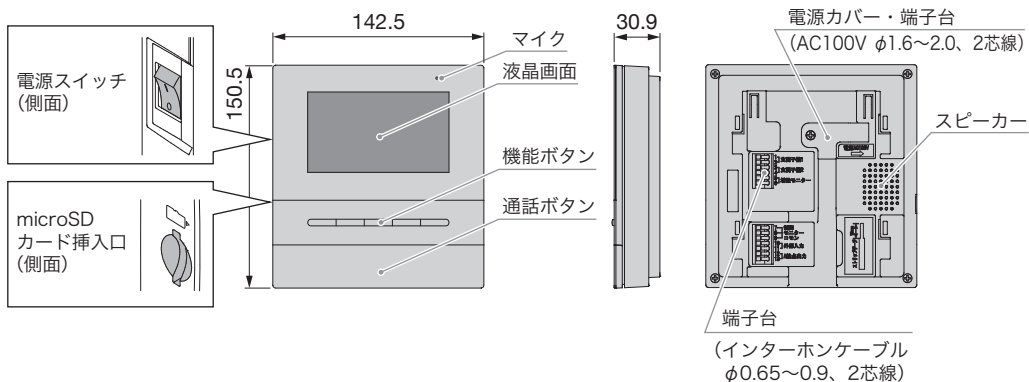
## 玄関子機



〈玄関子機〉の施工で使用するもの	玄関子機		1 台	玄関子機 取付用ねじ M4×28 mm		2 本	平座金		2 個
	玄関子機壁付ベース ※玄関子機に取り付けられています		1 個	玄関子機 取付用木ねじ φ4×18 mm		2 本			

材質：難燃性 PC 樹脂 / 製品質量：約215g (玄関子機壁付ベースを含む)

## 室内親機



〈室内親機〉の施工で使用するもの	室内親機		1 台						
	室内親機 壁付ベース		1 個						
	室内親機 取付用ねじ M4×28 mm		2 本						
	室内親機 取付用木ねじ φ4×18 mm		2 本						
	平座金		2 個						

その他付属品	スタートガイド		1 枚
	保証書		1 枚
	施工説明書 (本書)		1 部

※スタートガイド・保証書は施工後にお施主様へお渡しください。

材質：難燃性 PC・ABS 樹脂 / 製品質量：約 400g

# 配線距離 / 工事について

## 配線距離 (インターホンケーブル)

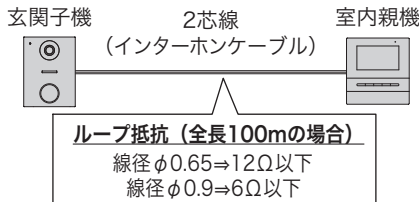
配線区間	線種	配線可能距離
玄関子機～室内親機	2芯線 (インターホンケーブル) $\phi 0.65\text{ mm} \sim \phi 0.9\text{ mm}$	100m 以内
室内親機～増設モニター	2芯線 (インターホンケーブル) $\phi 0.65\text{ mm} \sim \phi 0.9\text{ mm}$	150m 以内
室内親機～Nasta JEM-A アダプタ	3芯線 (インターホンケーブル) $\phi 0.65\text{ mm} \sim \phi 0.9\text{ mm}$	50m 以内
室内親機～A 接点出力接続可能な機器	2芯線 (インターホンケーブル) $\phi 0.65\text{ mm} \sim \phi 0.9\text{ mm}$	接続する機器の仕様に従う
室内親機～外部入力接続可能な機器	2芯線 (インターホンケーブル) $\phi 0.65\text{ mm} \sim \phi 0.9\text{ mm}$	50m 以内

## 取り替えの場合

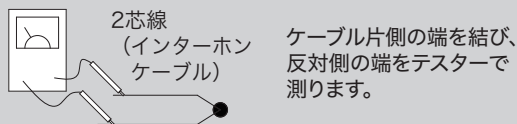
現在ご使用中のインターホンから取り替える場合は以下の内容をご確認のうえ、取付を行ってください。

既存インターホンの仕様	ご確認内容
電池式の場合	インターホンへの配線接続が必要となりますので、本説明書の内容にしたがって接続作業を行ってください。
電池式以外の場合	既存の配線接続仕様をご確認ください。 接続仕様が本製品と同様の場合、配線の状態をご確認のうえ、ご使用ください。 接続仕様が異なる場合には本説明書にしたがって接続作業を行ってください。

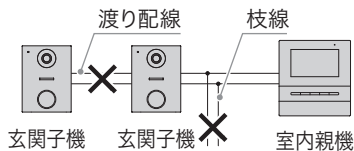
既存または新設の玄関子機配線などのインターホンケーブルを接続する場合はAC100V電源を切り、配線距離及びループ抵抗値を測定してください。下記の抵抗値を照合し、異常がないことをご確認のうえ接続工事を行ってください。



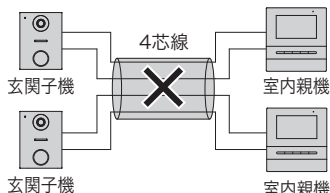
## 測定方法



## 以下の接続状態での使用はおやめください



枝線がある場合、映像や音声に悪影響が出るおそれがありますので取り除いてください。  
玄関子機の渡り配線はおやめください。



複数の機器を配置の場合は必ず2芯線をご使用ください。  
4芯線など他の配線材は使用しないでください。

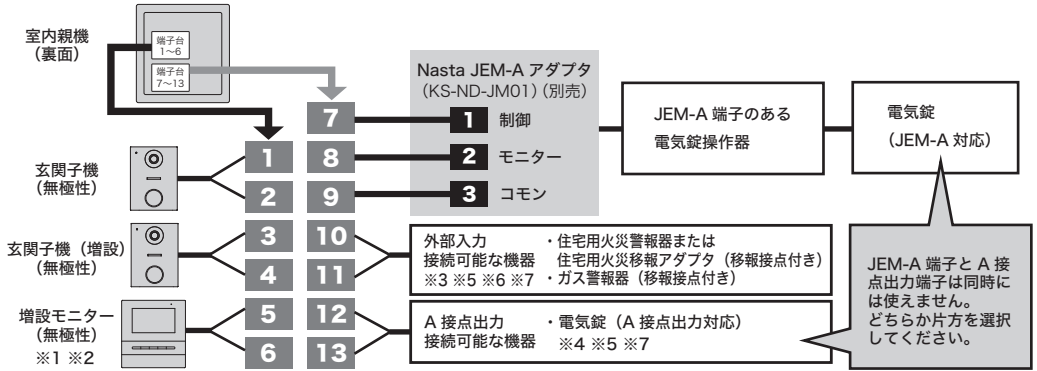
## 配線工事について

既存のインターホンがある場合には、事前に電源(ブレーカーなど)をお切りください。配線工事には必ず電気工事士の資格を持つ方が工事をしてください。ノイズ障害の可能性がある場合は、金属配管の中に接続線を通して工事してください。金属配管には接地工事をしてください。AC100V以上の電源線とは1m以上離して配線工事をするか、別々の金属管による配線工事をしてください。接続工事前に必ず、対地間・線間の絶縁抵抗・直流ループ抵抗値を測定のうえ下記の値を満たしていることをご確認ください。工事完了後はP.8「施工後の動作確認」の手順に従い動作確認をしてください。

絶縁抵抗値	DC500Vにて1MΩ以上
ループ抵抗値	ループ抵抗12Ω以内(全長100mの場合) ※インターホンケーブルのみ測定

# 配線系統図

この配線系統図および「配線距離 / 工事について」(P.4) にしたがって正しく配線してください。



※1：増設モニターには電源線の接続は不要です。

※2：端子台 5・6には他世帯親機を接続可能です。他世帯親機の接続には別売の Nasta 世帯連携用アダプタ (KS-ND-CP01) が必要です。詳細は Nasta 世帯連携用アダプタの施工説明書をご確認ください。

※3：下記の定格に適応した機器を接続してください。

- ・入力方式：無電圧メーク接点
- ・検出時間：0.1 秒以上
- ・端子間開放電圧：DC 7V 以下
- ・端子接触抵抗：メーク時 500Ω以下、ブレイク時 15kΩ以上
- ・端子短絡電流：5mA 以下

※4：下記の定格に適応した機器を接続してください。

- ・定格負荷：AC、DC 24V/0.5A 以下
- ・最小適用負荷：DC 5V/1mA

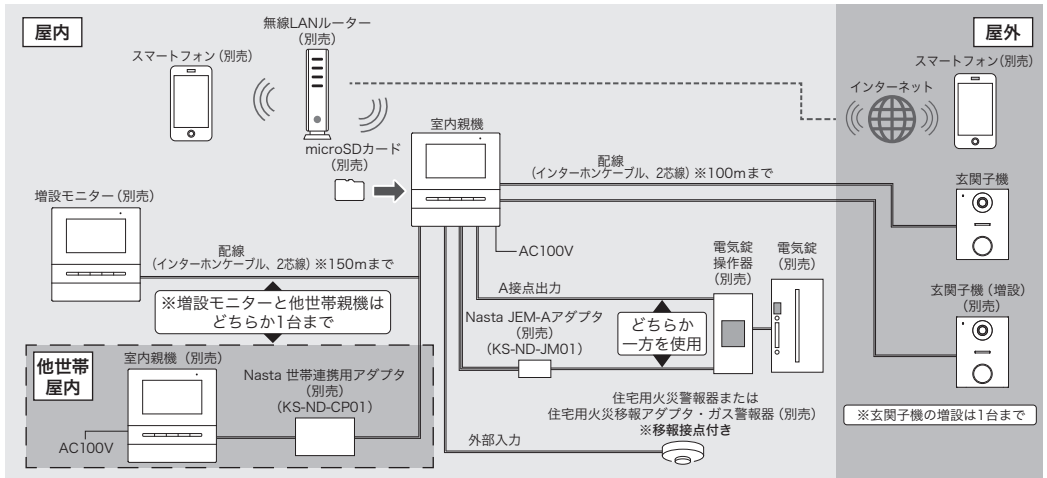
※5：接続可能な機器に関しては、右記二次元コードよりご確認ください。

(<https://www.nasta.co.jp/product/electrical/interphone2-connect.html>)

※6：火災警報器の接続は 1 台のみです。

※7：火災警報器または住宅用火災移報アダプタ、ガス警報器、電気錠をご使用になるには、機器の種類や接点種別に応じた設定が必要です。設定方法は取扱説明書をご確認ください (同梱のスタートガイドにアクセス用二次元コードが記載されています)。

接続可能な機器



## 製品/仕様について

	電源	消費電力	使用環境条件	防水性
玄関子機	室内親機より供給	—	-10°C~50°C 湿度90%以下 結露なきこと	IP54
室内親機	AC100V (50Hz/60Hz)	待機時: 9W (最大) 動作時: 1.4W (最大)	周囲温度: 0°C~40°C 結露なきこと	—

# 玄関子機を取り付ける

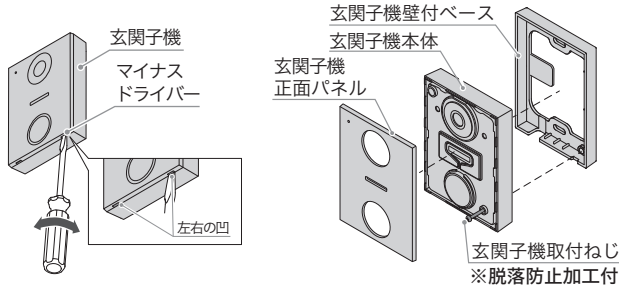
※防水処理が必要な場合は玄関子機壁付ベースにコーキングを行ってください。  
 ※埋め込み施工を行う場合は正面から4mm以上露出させてください。

1

玄関子機から玄関子機壁付ベースを外します。

- ① 玄関子機の下部にある溝へマイナスドライバーを差し込み、ひねって正面パネルを外します。
- ② 玄関子機右下にあるねじを緩め、玄関子機壁付ベースを外します。

※正面パネルを傷つけないよう置き場所にはご注意ください。

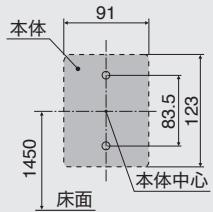


2

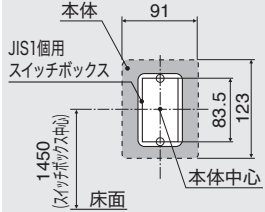
玄関子機壁付ベースを壁面に取り付けます。

■ 玄関子機 取付寸法図 (単位: mm)

壁面に直接取り付ける場合

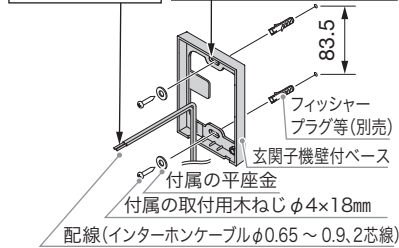


スイッチボックスに取り付ける場合



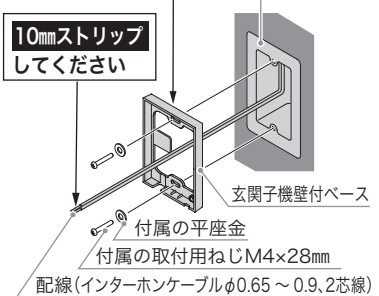
## 露出配線の場合

- 10mmストリップ
- ↑UPが書いてある方を上にしてください



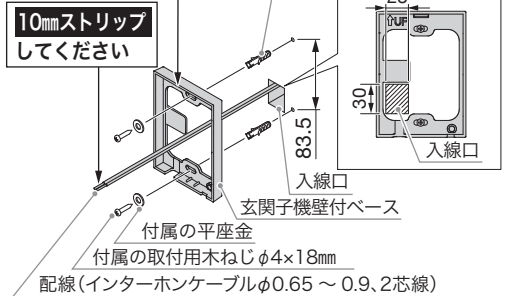
## スイッチボックスを使用する場合

- ↑UPが書いてある方を上にしてください
- スイッチボックス 1個用



## 壁に穴を開けて施工する場合

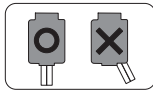
- ↑UPが書いてある方を上にしてください



3

玄関子機背面防水キャップを開き、端子台に配線を差し込みます。キャップを元に戻します。

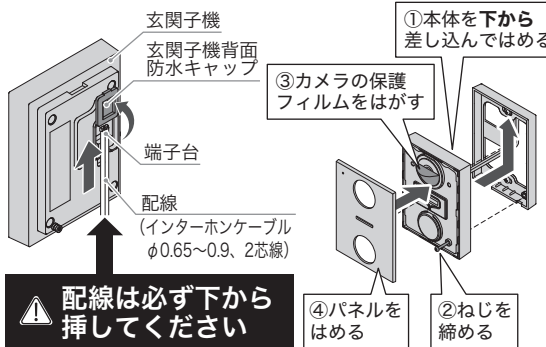
※キャップをしっかりと閉じ、配線が横から出ないようにご注意ください。



4

- ① 玄関子機本体を玄関子機壁付ベースへ下から差し込んで取り付けます。
- ② 玄関子機本体のねじを締めます。
- ③ カメラの保護フィルムをはがす。
- ④ 正面パネルを取り付けます。

※配線の反発で取付が出来ない場合は、配線を短くした後に再度取付を行ってください。



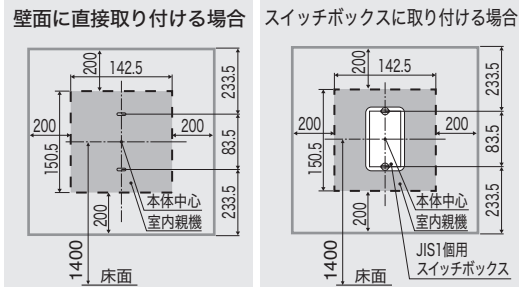
# 室内親機を取り付ける

室内親機壁付ベースを壁面に取り付けます。

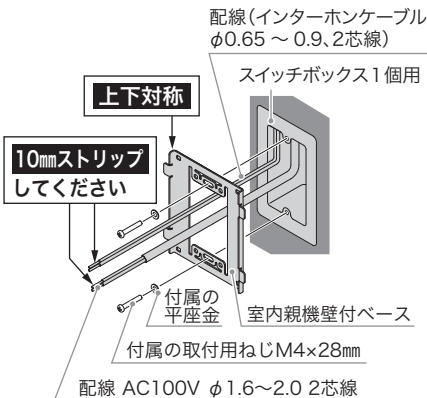
1

■室内親機 取付寸法図 (単位: mm)

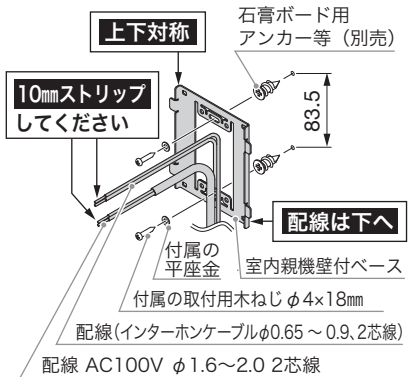
※周囲 200mm ずつ空間をあけてください



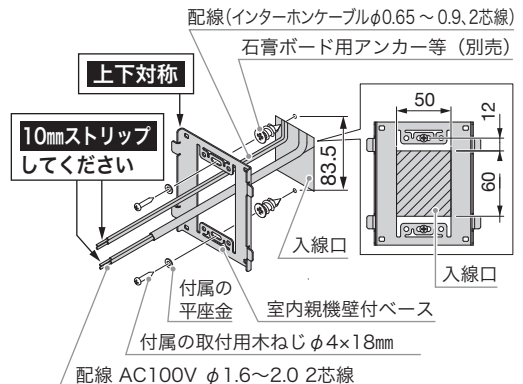
## スイッチボックスを使用する場合



## 露出配線の場合



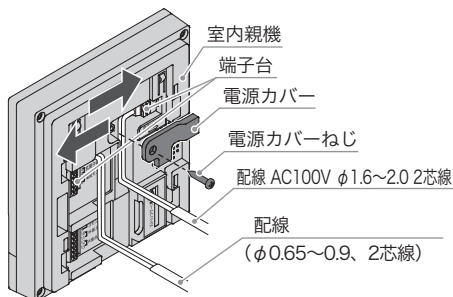
## 壁に穴を開けて施工する場合



※付属のねじが使用できない場合は石膏ボードアンカー(別売)等を使用してください。

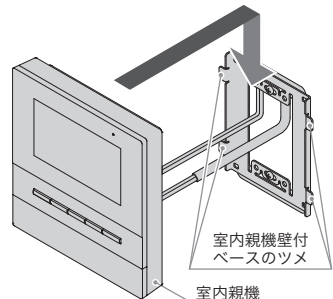
2

端子台に各配線を差し込みます。  
電源は電源カバーを取り外して差し込み、電源カバーを戻してください。  
増設モニターや外部接続機器を接続する場合は、配線の差し込み位置にご注意ください(P.5参照)。



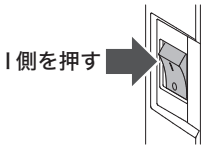
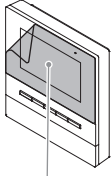

3

室内親機を室内親機壁付ベースのツメに引っかけます。固定がかかるまで差し込み、外れないことを確認してください。



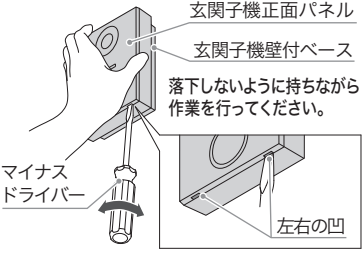
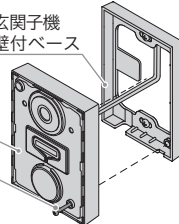
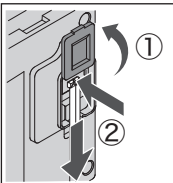
⚠ 次ページの「施工後の動作確認」を必ず行ってください。

# 施工後の動作確認

- 1 室内親機の電源を入れます。  
電源スイッチは左側面についています。  
  
1側を押す
- 2 室内親機の保護フィルムをはがしてください。  
  
保護フィルム
- 3 ① 玄関子機の呼出ボタンを押します。  
室内親機の液晶画面に映像が映り、呼出音が鳴ることを確認してください。  
② 室内親機の通話ボタンを押し、玄関子機と通話ができれば動作確認は完了です。  
  
① 押す ② 押して通話

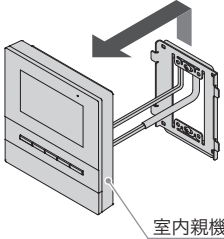
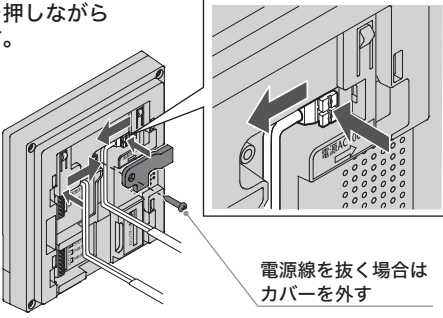
# 玄関子機を外す場合の手順

※必ず電源(ブレーカーなど)を切ってください。

- 1 玄関子機の下部にある溝へマイナスドライバーを差し込み、ひねってツメを外します。正面パネルが外れますので、傷つけないよう保管してください。  
  
玄関子機正面パネル  
玄関子機壁付ベース  
落下しないように持ちながら作業を行ってください。  
マイナスドライバー  
左右の凹
- 2 玄関子機取付ねじを緩め、ベースから本体を取り外します。  
  
玄関子機  
壁付ベース  
玄関子機本体  
玄関子機取付ねじ  
※脱落防止加工付
- 3 ① 玄関子機背面防水キャップを開きます。  
② 端子台の突起を押しながら配線を抜きます。  
  
① ②

# 室内親機を外す場合の手順

※必ず電源(ブレーカーなど)を切ってください。

- 1 室内親機を上を持ち上げて固定を外し手前に引きます。  
  
室内親機
- 2 端子台の突起を押しながら配線を抜きます。  
  
電源線を抜く場合はカバーを外す

●記載内容に関して予告なく変更になることがございます。あらかじめご了承ください。

**Nasta**

株式会社ナスタ  
Nasta Co., Ltd.

本社 〒107-0062  
www.nasta.co.jp

東京都港区南青山5-1-3 TS AOYAMA 6F

ナスタサポートセンター Tel:0570-200-307 (受付時間:土日祝及び当社指定休日を除く 9:00~17:00)

ND02A-001-01\_2026.02